岩盤ボーリング柱状図

調査名　二級河川　沼田川水系　栃木川　通常砂防事業に伴う設計等業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	切土B-1	調査位置	広島県東広島市河内町	北緯	34° 30' 42.8341"
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所	調査期間	令和4年 1月18日～ 令和4年 1月21日	東経	132° 48' 24.3601"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 264.76m	角度	180°(上) 90° 0°(下) 0°	方向	北 0° 270°(西) 90°(東) 180°(南)
総削孔長	9.00m	地盤勾配	46° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO型試錐機
					エンジン：ヤンマーNFD-10K型　ポンプ：東邦BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD [%]	記事	孔内水位/測定月日
	264.61	0.15	SF	表土	暗茶								木の葉主体の表土。	1/20 無し
1	263.31	1.45	礫混じり砂		茶								細砂主体の崖錐堆積物。草根混入。0.60m以深　径1～5cmの角礫を含む。	
2				風化花崗岩	茶褐～青灰	w1	h1	C / B	Ⅲ / Ⅱ	b / a	CL / CM	15[25]100 / 21[21]100	粗粒部と細粒部を繰り返す風化花崗岩。風化部と未風化部が繰り返し出現し，不均質。粗粒部が風化しやすい傾向にある。未風化部は割れ目に草根や土砂が流入している。2.40～3.85m　45～70度の亀裂が発達している。硬質な細粒部と，風化した粗粒部と，土砂が流入した亀裂部からなる。	
3						w2	h2	D	Ⅳ	c	D	0[0]100		
4						w1	h1	C	Ⅲ	b	CL	16[28]100	5.00～7.00m　軟質でコアを揺らすと容易に割れ目が発生する。5.95～6.30m　未風化の角礫状コアと，指圧で崩れる砂状コアとして採取される。6.65～7.00m　風化が進行しており，周囲より軟質。コア芯部まで茶褐色に変色している。高角度に傾斜した亀裂と白色脈がみられ，6.80～6.90m間は指圧で崩れる。	1/21 4.29
5						w3	h2	D	Ⅳ	c	D	4[0]100		
6						w4	h3	E	Ⅵ	d		0[0]100		
						w3	h2	D	Ⅳ	c				
7	257.76	7.00				w4	h3	E	Ⅴ	d				1/24 7.16
8			礫	花崗岩	青灰	w1	h1	B	Ⅱ	a	CM	18[18]100 / 35[69]100	粗粒部と細粒部を繰り返す花崗岩。未風化で硬質なものが連続する。	
9	255.76	9.00												
10														
11														
12														
13														
14														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
10	1.15	10		
	1.45	300		
50以上	2.00	貫入不能		
50以上	3.00	貫入不能		
50以上	4.00	貫入不能		
50以上	5.00	貫入不能		
50以上	6.00	50	70	
	6.07	70		
50以上	7.00	貫入不能		
50以上	8.00	貫入不能		
50以上	9.00	貫入不能		

原位置試験　室内試験

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
1/18	17.00	66 ケーシング	打込み打込みダブルチューブ ダブル/ライナー	0	0	0	W1 0	0
	29.00			0	120			
1/19				0	180			
	57.00			0	160	0	W3 10	1
1/20								
	33.00			0	160			
1/21								